

講義名	日本語総合A(1年生のみ)			授業形態	
担当教員	松繁 弘之	開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

主題は日本語能力試験N2レベルの文法である。『日本語総まとめN2文法』で取り上げられている文法項目の意味・用法を理解して作文の練習をする。

到達目標

到達目標は大学の講義を理解し、レポートを正確な日本語で書くことができるようになることである。

提出課題

提出課題は毎回授業で使用するワークシート(授業終了時に提出)である。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバックの方法

ワークシートに質問欄を設け、それについて次の授業で説明する。また、小テストなどで間違いが多いところなどについても説明する。

評価の基準

ワークシート(40%)と小テスト(60%)を総合して評価する。

履修にあたっての注意・助言他

- 次のことに注意してもらいたい。
- ・毎回授業開始時に出席を確認する。15分以上の遅刻は欠席となること
 - ・5回以上の欠席は単位を取得できなくなる
 - ・教室のマナー(私語、飲食、SNSなど)を守ること
 - ・予言と復習を習慣にすること

教科書

.使用しない。

参考図書

.日本語総まとめN2文法.	佐々木仁子・松本紀子	アスク出版	1320	9784866394886
---------------	------------	-------	------	---------------

その他

必要に応じてプリントを配布する。

授業計画

- 1.ガイダンス(授業内容、方法、評価、注意)
- 2.文法項目「げ」-「は抜きにして」
- 3.文法項目「でたまらない」-「でばかりはいられない」
- 4.文法項目「かいがあって」-「に限り」
- 5.文法項目「さえあれば」-「にしたがって」
- 6.文法項目「とおり」-「たかと思つたら」
- 7.文法項目「ところ」-「一方」
- 8.文法項目「上にも」-「にかかわって」
- 9.文法項目「ながら」-「にわたって」
- 10.文法項目「っこない」-「だけあって」
- 11.文法項目「だけあって」-「のでで」
- 12.文法項目「以来」-「にかけては」
- 13.文法項目「をか」-「にて」
- 14.文法項目「をかまわず」-「ものか」
- 15.文法項目「を中心に」-「際に」

授業形態(アクティブ・ラーニング)

<input type="radio"/> ア：PBL(課題解決型学習)	<input type="checkbox"/> イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> キ：その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 予習(2時間)：学習する文法項目の意味・用法を調べておく。
復習(2時間)：学習した文法項目の意味・用法を確認する。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目を受講することで、課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、正確で適切な日本語を用いて収集・調査、整理することができる素養が身につく。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考